

# とういん

議会だより

118号



優勝を目指して

— 町民駅伝大会 —

町政を問う（一般質問） 9

・ 委員会レポート 7

・ 修正案を不採択 4

・ 一般会計補正予算 2

平成26年1月17日

12月定例会

発行 三重県東員町議会

# 12月定例議会

東員町議会 12月定例会は、3日から17日までの会期で開かれました。

平成25年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、固定資産評価審査委員会の委員選任、教育委員会の委員の任命のほか、条例改正など、議案10件が提出され、慎重な審議を行い、全会一致、一部賛成多数で原案どおり可決されました。

なお、議員発議が1件提出されましたが、否決となりました。

## 一般会計補正予算

|      |              |
|------|--------------|
| 補正額  | 4,798万2千円    |
| 予算総額 | 71億8,298万8千円 |

### 主な補正財源

|        |         |
|--------|---------|
| ・国庫支出金 | 3,636万円 |
| ・県支出金  | 1,786万円 |

### 主な使いみち

|                     |         |
|---------------------|---------|
| ・子ども・子育て新制度対応システム   | 1,253万円 |
| ・北勢線水路改修工事          | 534万円   |
| ・オレンジバス修繕等経費        | 156万円   |
| ・燃料及び水道光熱費（庁舎・保幼小中） | 517万円   |
| ・給食センター維持管理経費       | 221万円   |



給食センターの管理状況を視察



利用者が増えています



台風被害を受けた水路（北勢線隣接地）



グリーンカーテンで猛暑対策

## 主な質疑

**問**（南部武委員） 3台あるオレンジバスの走行距離と耐用年数はどれだけですか。

**答**（政策課長） 南北線は57万kmと58万km、東部線が53万kmです。耐用年数は通常15年から20年程度です。

**問**（近藤治委員） 条例改正に伴ってのシステム改修費ですが、税率の数値を変えるだけで140万円もかかるのですか。

**答**（税務課長） 延滞金の率の改正に伴う改修です。他市町ではほぼ同額か、もう少し高いところもあり、適正に見積もりをしたと思います。

**問**（川瀬委員） 検診等業務委託の債務負担行為に受診率が低いとありますが、どう分析していますか。

**答**（健康保険課長） 受診率は県下では低い方ではなく横ばい状態です。さらに意識向上を図ります。

**問**（南部豊委員） 用地買収費は、m単価8千4百円、坪単価約2万5千円で、水路に沿った真つすぐな用地ですか。

**答**（建設課長） 用地取得は、用壁沿いにほぼ真つすぐになると思います。m単価8千4百円は、公共用地取得に伴う市街化調整区域の農地の単価です。

**問**（川瀬委員） 夏の電気代が上がるのは分かりますが、ミストを付けるなど体感温度を下げる対策の考えはありますか。

**答**（教育総務課長） 学校によってはグリーンカーテンや遮光フィルムなどでの対応を考えていきます。

## 討 論

### 反対討論（上原議員）

平成27年度から始まる「子ども子育て新制度」で保育料は、所得税から住民税を基本にすることから、低所得者の保育料が高くなります。消費税が10%になる予定や、すでに年少扶養控除の廃止・児童手当の削減など、保育料が高くなることは認められませんので補正予算に反対します。

### 賛成討論（種村議員）

猛暑による光熱費の増加や台風被害の整備など、やむを得ない案件や国・県からの補助金あるいは交付金の確定による精査および国の新制度に向けての準備に係る費用などが主なものです。

斎苑の火葬業務管理委託については、人生最後の場面にふさわしいサービスの提供ができる業者選定を願い賛成します。

# 特別会計補正予算

## 国民健康保険

歳入・歳出それぞれ1752万5千円を増額補正し、予算総額は27億7010万5千円です。

### 主な質疑

問（鷲田委員） 療養給付費負担金の確定額が2億986万円余りということですが、この件数を伺います。

答（保険年金係長） 平成24年度の受診件数は、11万2263件です。

問（大崎委員） 特定検診の受診率はどのくらいですか。

答（健康づくり係長） 平成22年度は39・3%、平成23年度は45・8%、平成24年度は46・1%という受診率です。

## 介護保険

歳入・歳出それぞれ2034万3千円を増額補正し、予算総額は14億6578万2千円です。

### 主な質疑

問（鷲田委員） 一般会計からの繰入金を精算後に返還していますが、これだけの金額があれば、町

独自の事業はできませんか。

答（長寿福祉課長） 介護給付費の一般会計からの繰り入れ精算分の返還であり、一般会計では高齢者施策として、ホームヘルプサービス事業などが町単独の事業として計上されています。

## 修正案を不採択

予算決算常任委員会において、一般会計補正予算の内、債務負担行為として計上された東員町斎苑火葬業務委託料を削除する修正案が、鷲田委員から提出され、採決の結果、賛成4人の少数で不採択となり、原案どおり可決すべきと決しました。

### 修正案

「斎苑火葬業務委託料2097万3千円に消費税及び地方消費税を加算した額」を削除する。

### 修正案反対討論（南部武委員）

指名競争入札に変更され金額も妥当となり、行政の努力を評価し原案に賛成します。

### 修正案賛成討論（種村委員）

詳細な仕様書でより良いサービスを求めるとしていますが、競争入札において本当にできるのか疑問であるので修正案に賛成します。

### 提案理由

（鷲田委員） 斎苑業務においてアンケート調査を行い、現在の委託業者に問題点があると説明を受けました。問題点をはっきり究明し問題が起らないようなシステムを構築した後、入札を行い受託業者を一年間よく管理・監督し、支障がないことを確認した上で契約すべきと考えます。

# 条例

東員町公共施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定

公共施設の老朽化が課題となり、計画的な整備に必要な財源を確保するため、既存基金を整理統合し、新たな基金の設置等に関する条例を制定するものです。

## 主な質疑

**問** (近藤治委員) 公共施設の整備基金には教育施設整備基金もありますが、統合しないのはなぜですか。

**答** (総務部長) 教育施設は教育委員会部局の管理です。今の段階では統合しないのが良いと判断しました。将来的には統合も検討をしていく必要があると考えています。

**問** (大崎委員) 庁舎整備基金と高齢者福祉整備基金を統合した場合、整備の優先順位はどうなりますか。

**答** (財政課長) 庁舎及び保健福祉センターの老朽化に伴う改修の調査を行っています。それを基に今後十年間の整備計画を策定し、進めていきます。

## 反対討論 (大崎議員)

庁舎整備基金と高齢者福祉整備基金を一本化にするメリットが理解できません。優先順位が変わり、本来に必要な施設ができないのではと危惧を抱き、反対します。

## 賛成討論 (種村議員)

公共施設の老朽化が課題となる中、現在長寿命化計画を策定していますが、計画的な整備をするためには、既存基金の整理統合が必要と考え賛成します。

東員町町税条例の一部を改正する条例の制定

地方税法の一部が改正されたことに伴い、町税条例の一部を改正するものです。

主な改正の内容は、納期限後の納付に係る町税延滞金の割合と、住宅ローン控除の拡充などの算定方法や金融所得に対する課税方法の改正です。

延滞金の利率の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定

地方税法の一部が改正されたことに伴い、本町関係条例の一部を改正するものです。

主な改正の内容は、低金利状況に合わせ、延滞金及び還付加算金の利率の改正です。



施設が古くなってきました

# 各議員の賛否

平成 25 年 12 月定例会

議案、発議の審議結果です。賛否の分かれた議案のみの表示です。ほかの議案などは全会一致で賛成しました。

| 審議結果 | 議案名                                | 議員名  |      |      |     |      |      |      |      |      |      |      |      |       |      |
|------|------------------------------------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|------|
|      |                                    | 近藤治隆 | 近藤敏彦 | 島田正彦 | 南部豊 | 種村博行 | 上原君代 | 鷲田昭男 | 川瀬孝代 | 木村宗朝 | 藤田興一 | 南部武司 | 伊藤守一 | 山本陽一郎 | 大崎潤子 |
| 可    | 東員町公共施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ×    | ○    | ○    | ○    | —    | ○    | ○    | ○     | ×    |
| 可    | 平成25年度東員町一般会計補正予算（第3号）             | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ×    | ○    | ○    | ○    | —    | ○    | ○    | ○     | ×    |
| 否    | 消費税増税中止を求める意見書                     | ×    | ×    | ×    | ×   | ×    | ○    | ×    | ×    | ×    | —    | ×    | ×    | ×     | ○    |

議長は採決に加わらない。○は賛成、×は反対

## 議員研修会を開催

東員町議会は、議員を対象に、10月29日山梨学院大学教授 江藤俊昭氏による「議会改革・運営について」の研修会を開催しました。研修では、住民自治を強化させる議会改革の動向と課題ということで、開放的議会と一般質問の意味などの課題を中心に講義を受けました。



## 普通救命講習を受講しました

東員町議会では、「東員町議会災害対策本部設置要綱」を定めています。12月17日の午後、桑名市消防署東員分署による普通救命講習を、全議員と議会事務局職員が受講しました。人工呼吸やAEDを用いたの心肺蘇生法を学び、尊い命を救う知識と技術を議員一人一人が身につけることができました。



# 委員会活動レポート

鳥取県<sup>ちづ</sup>智頭町・岩美町  
現地視察日 10月2日・3日

議会運営  
委員会

## 今後の議会改革を



岩美町議会での研修

鳥取県智頭町議会へ一般質問の反問権と議会報告会の視察研修に行きました。智頭町は議会基本条例を施行し、議会報告会の実施や議会広報委員会のメンバーが住民や各種団体へ出向くなど、議会への住民理解の向上を図っていました。岩美町議会では、議会の会派制度について研修を受けました。ただ、議員削減で制度を廃止したとのことでした。

岩美町は議会改革調査特別委員会を設置し、24回の

でした。

岩美町議会では、議会の会派制度について研修を受けました。ただ、議員削減で制度を廃止したとのことでした。

岩美町議会では、議会の会派制度について研修を受けました。ただ、議員削減で制度を廃止したとのことでした。

岩美町議会では、議会の会派制度について研修を受けました。ただ、議員削減で制度を廃止したとのことでした。

岩美町議会では、議会の会派制度について研修を受けました。ただ、議員削減で制度を廃止したとのことでした。

岩美町議会では、議会の会派制度について研修を受けました。ただ、議員削減で制度を廃止したとのことでした。

岩美町議会では、議会の会派制度について研修を受けました。ただ、議員削減で制度を廃止したとのことでした。

特別委員会を開催、講師を招いての研修会、先進地調査、自治会長との意見交換会などを行い、精力的に調査検討がされていました。また、一般質問での時間配分では質問時間のみを30分とするなど、見習うべき点が多くありました。議会改革の先進地である両町では一般質問の反問権を認めており、東員町議会での課題となりました。先進地から学ぶことは多くあり、政策提言の方法など今後の課題となりました。



智頭町議会での研修

## 高速道路を視察しました

12月24日に、現在建設中の東海環状自動車道東員インターを全議員で視察しました。平成27年度に開通するため、日を増すことに風景が変わっていきます。この先、いなべ市を経由して、岐阜県養老町の名神高速道路までの早期開通を願います。



# 委員会活動レポート

山梨県昭和町

現地視察日 10月31日

議会広報常任委員会

## さらに読みやすく

昭和町広報委員会は、町村議会広報全国コンクールで何度も入賞している優秀な議会です。

昭和町の広報紙が好評価されるのは、レイアウトや余白の使い方が上手く、読みやすい紙面であると感じました。東員町議会広報紙の意見を伺ったところ、余白が少ない部分、一般質問での顔写真の向きなど指摘されました。確かに顔写真については、内側に向けるという基本を忘れており、変更することになりました。

視察後の委員会において、一般質問の文字数が多く余白が少ないので、今回から文字数を百字程度減らすこととしました。また、記事の写真も1枚のみとしました。次に表紙を全面写真とし、5年あまり続いた広報紙の題字「東員」を以前の「とういん」に戻すこととし、今回から大きくイメージが変わったと思いま



昭和町議会での研修

す。ほかにも取り入れたい事項は多くありましたが、順次見直していこうということと一致しました。

入賞常連の町での研修は大きな刺激にもなり、改善すべき内容や忘れてしまっている事項の再確認ができ、大変有意義な研修でした。

## 相次ぐ視察研修

11月8日、長崎県長与町議会から、議員削減と常任委員会の削減など議会改革を目的に視察がありました。

議会運営委員全員が対応し、削減に至った経緯など委員長より説明し、その後、共通の課題である議会改革について真剣に意見交換を行いました。



長崎県長与町議会の皆さんと



岐阜県岐南町議会からの視察

11月26日、岐阜県岐南町から、政務活動費についての視察がありました。

岐南町が新たに政務活動費を設けるための視察と、東員町が1万円を減額した理由の調査が目的でした。少ない報酬の町議会では、議員活動には限界があるなど、共通の課題となりました。





大崎潤子

# 特定秘密法案を廃案に 国民的議論を願っています

## 問

特定秘密保護法案は、どんな世論調査でも、反対する声は5割にも広がり、8割の国民が慎重審議を求めています。各界各層で空前の反対の声が広がっています。国民多数の声を踏みつけての強行採決を許すわけにはまいりません。

特定秘密保護法案の危険性は何が秘密なのか、その指定に何の歯止めもなく、秘密が際限なく広がる危険があることや、国民の知る権利や基本的人権をおびやかすものです。そして、国民の耳、口、目をふさぎ、海外で戦争する国をつくる狙いがあり、憲法9条改正へとつながると考えます。憲法の国民主権、基本的人権、平和主義を根本から覆すこの法案は廃案にすべきと考えますが、町長はどう考えますか。

## 答

町長 特定秘密が何なのか、具体的にイメージができません。政府に都合の悪い情報が秘密であると定義されるようでは、国民は納得しないと思います。国民的議論を願っています。

## 政策の進み具合は

## 問

町長は就任から3年目の後半に入りました。

町長の19の政策のうち、次の4点の取り組みについて伺います。

- ① 町民との協働の仕組みについて。
- ② 農業振興での喜び農業推進事業について。
- ③ 福祉のまちづくりオープンハウスについて。
- ④ ネオポリス再生計画について。

また、ごみ減量とリサイクル推進を掲げながら、ごみ処理機補助金の減額はなぜですか。

## 答

町長 ①自治会、NPOや地域団体などの「市民活動支援センター」の運営を町の方で担当し、協働について研究します。②本年度より積極的に予算を付け、農業の6次産業化などを目指し、研究を始めるところです。③笹尾東3丁目集会所を活用した取り組みが始まりました。

④ネオポリスの再生は、国土交通省の外郭団体などに助言をいただいています。が、なかなか進んでいないのが現状です。生ごみ処理機は市場価格が安くなり、3万円に改定しました。ごみ減量化方針は変わりません。



種類が多い生ごみ処理機



種村博行

# 今後の町づくりは 市民活動の支援を見直します

## 問

第5次総合計画は、  
厳しい財政状況から

町民の町政参画と町民と行政の役割を検討し、協働して地域づくりをするつもりです。また、町長の公約も町民と共に自立した東員町を作っていくとされていますが、どの様に進めていますか。

## 答

町長 これからの地域づくりは、自治会だけではなく、NPOや地域の団体、趣味のサークルなど、多種多様な組織が複合的に地域で活動することが考えられ、その活動を通して地域の支え合う仕組みが出来上がっていくものと考えています。これまでの「市民活動支援センター」の運営を見直し、来年度からは町が直接運営を行い、市民活動団体同士などの調整、相談や支援などを行っていきたいと考えています。

## 市民農園の制度づくり

## 問

畑の耕作放棄地が増えていきます。一方、

東員町は今後15年程は65歳以上の人が毎年300〜400人増えていきます。高齢者が野菜や花を栽培する楽しみを持つことは、健康寿命を延ばす効果や人々の交流による町づくりも期待できます。こういった人たちが、耕作放棄地を利用した農園利用方式による市民農園の制度づくりが出来ないかをお聞きします。

## 答

建設部長 農園利用方式による市民農園への提案ですが、農林水産省が示している市民農園の開設方法の一つです。農地所有者が農業経営の一環として農園を設置し、農作業の指導・管理のもと、農業者以外の人が野菜の栽培、高齢者の生きがいづくりなどの目的で、農作業体験を

するもので、農作業の軽減を図ることや、後継者対策として期待されています。農地を荒廃させないよう、農業者が農園を開設し運営をすることこそ本来の耕作放棄地対策であり、町としても農業者と利用者を結びつける制度づくりを検討し、支援をしていきます。



耕作者がいない畑



上原君代

# オレンジバスの見直し案は 通勤通学の利便性を考えます

## 問

オレンジバスの東西線が廃止されてから3年8カ月、今年の4月に新しい契約での運行の予定でした。来年からの実施に向けて、具体的な協議がされています。交通空白地域や、通勤通学問題などに対する基本的な考え方を伺います。

## 答

**副町長** 朝夕便は通勤通学のために北勢線東員駅・六太駅・三岐北勢中央公園駅までの所要時間を短縮し、昼間便は通院や買い物などを基本に、交通空白地域（神田・稲部地区）を解消する路線とし、東員駅を中心にバス、電車の乗り継ぎが出来るように考えています。路線認定、運行許可などの都合で平成26年10月から運行開始の予定です。

再質問（一問一答）

## 問

介護認定前で無償の福祉タクシーなどが

利用できず、オレンジバスのバス停までの歩行が困難な方は、有償福祉タクシーは利用できますか。できないなら、手はずを考えてください。

## 答

**生活福祉部長** 有償でも認定前は福祉タクシーなどの利用はできません。

## 北勢線の存続は

## 問

平成28年以降の三岐鉄道北勢線の存続をどう考えていますか。

## 答

**町長** この場での明快な答弁は出来ません。

再質問（一問一答）

## 問

今回の新しい運行計画ですし、北勢線利用者増へのイベントの企画など前向きと取られる答弁でしたが、いかがですか。

## 答

**町長** その方向での考えと推測してください。

## 町道に歩道を

## 問

町道（旧国道421号）東員郵便局からいなべ市までの区間ですが、車量が多く、路肩は異常に狭く危険です。この道は4種にあたり、新設だとかかなり広い歩道が必要です。新設ではないので当てはまりませんが危険は一緒に

## 答

**建設部長** 多額な費用が必要であり、歩行者の利用状況から困難です。交通量から県管理が相当と考え、県道大泉北大社線との代替路線として、県道への昇格を要望しています。

※ ほかに「子どもの医療費の窓口無料化」などについて質問しました。



歩けない道路



南部 豊

# 大丈夫ですか、町農業政策は 特産品作りを目指します

**問**

日本の農業は大変な変革期を迎えようとしています。東員町でも国の指針に沿った政策を押し進め、儲ける農業とは、どのような政策を考えているのか伺います。

**答**

建設部長 国の政策だけに頼っていたのでは、農業経営者の自立や、農業をする喜びを生み出すことはできないと考え、本年度から「喜び農業推進事業」に取組んでいます。

再質問（一問一答）

**問**

耕作放棄地の利用方法として、レジャー農園、市民農園の取り組みについては大賛成ですが、町内、全耕作面積は田や畑でどれだけですか。

**答**

建設部長 田約65万㎡合計783万㎡、約783町歩あります。

**問**

国が指針とする大規模経営とは何町歩耕作されている方ですか。

**答**

建設部長 あくまでも現在の一つの指針として、田で19町歩、畑で15町歩、合計34町歩となっています。

**問**

国は、各地域の農地事情を無視し、全国一律に行おうとしています。東員町には、個人農家が多くあり、国の指針に逆行する町農政運営ですが、町長の考えを伺います。

**答**

町長 基本的に減反政策については大反対であり、日本の農業を弱体化させたと認識しています。町として良いもの、付加価値のあるものに方向をシフトするべきと考え、少し予算を付けてでも特産品作りの開発を目指していきます。

(注) 1万㎡約1町歩

機構改革の成果は

**問**

住民サービスの向上と職員の意識向上のため二度の機構改革変更がありました。新しい課や係が増え、分かりにくくなったとの声があります。来年度の新しい機構改革の考え、また、「つぶやきポスト」の投函件数を伺います。

**答**

町長 組織の見直しについては、刻々と変化していく住民ニーズに対応し、柔軟な業務執行に効率的に努めます。また、子育て分野については、社会的背景などの変化が考えられることから、現体制を検証する必要もあると考え、24年度は47件、25年度は13件ありました。



どうなる農家支援？



川瀬孝代

# 雑誌スポンサー制度は 実施したいと考えています

**問** 活字ばなれの中で図書館に来館してもら

うため工夫をしているところがありません。図書館が所蔵する雑誌購入代金をスポンサーに負担してもらい、雑誌のカバー表面にスポンサー名を裏面に広告を載せたりする「雑誌スポンサー制度」があります。経費削減や財源確保につながると思います。導入してはどうですか。

**答**

**教育長** この制度は雑誌購入費の財源確保とスポンサーの広告効果、スポンサーがづくことによる雑誌の利用拡大の3つの効果が期待できると考えます。導入に向けて実施要綱の整備など行い、広告審査会を経て実施したいと考えています。

予防接種は

**問**

季節型インフルエンザは乳幼児と65歳以上を対象に公費助成しています。学校ではインフルエンザが流行し集団発生、学級閉鎖などがあります。特に受験を迎える中学3年生は罹患リスクを軽減し、受験に万全の体制で望むことに配慮が必要です。予防接種対象を乳幼児から中学3年生まで公費助成の拡大をしてはどうですか。

次にロタウイルス予防ワクチン接種について伺います。ロタウイルス胃腸炎は、生後6カ月から5歳までに95%の乳幼児が感染するとされています。感染力も強く、嘔吐・下痢・発熱を起します。特效薬がなく、脱水を防ぐために水分補給をする対症療法しかありません。感染を予防するためには予防ワクチンの接種が必要です。接種費用が高額で

あることから、公費助成を求めます。

**答**

**生活福祉部長** インフルエンザについては、マスクの着用・うがい手洗いの励行、十分な休息など日常から予防に努めていくことが重要です。公費助成については研究していきます。

次に、ロタウイルスによる胃腸炎は、厚生科学審査会において、定期接種化の議論がなされており、国などの動向を注視研究していきます。

※ ほかに「不育症対策について」も質問しました。



スポンサー募集する予定です



近藤 治隆

# 高齢社会への対応は コミュニティづくりが大切です

**問** 東員町としての高齢社会への方針と対策をお聞かせください。

**答** 町長 自治会に入らない人もおり、しっかりとしたコミュニティづくりが大切だと思っています。

再質問（一問一答）

**問** 私は自治会が一番重要だと思っていますが、町長の言われるコミュニティづくりとは、どのようなことで、どのような施策があるのでしょうか。

**答** 町長 自治会に入っていない人も、その他の活動をしているNPOなどでのつながりを作ることで、自治会には、そのような団体へのコーディネートをしてもらいたいと思っています。

**問** 私はこれまで自治会に入るのも活動も嫌でした。しかし、勉強を重ねると、自治会の大切さ・

重要性というのによく分かります。今は便利な時代で、面倒くさい事を避ける気持ちも分かります。

人と人との助け合いは必要不可欠です。助ける側から、助けられる側に回った時に気づくのかもかもしれませんが、それでは遅いのです。自治会に半強制的に入っていたいくとも必要と考えますがどうですか。

**答** 町長 自治会は任意団体であり、町が強制することはできません。

## 電算システムの見直しは

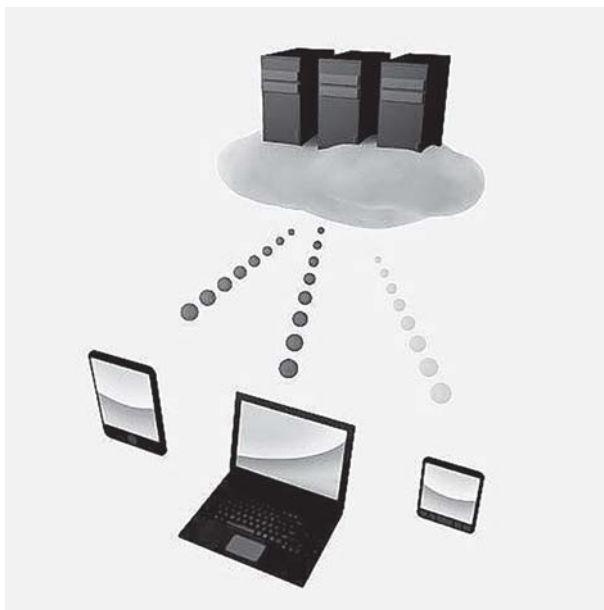
**問** 東員町の電算システムは毎年1億3千万円かかっていますが、削減に対する取り組み、スケジュールなどありましたら、お聞かせください。また、セキュリティ対策についてもお聞かせください。

**答** 総務部長 今後の電算システムの方針や

取り組みにつきましては、平成28年10月に現在のシステムの契約が満了するに伴い、平成26年から仕様の検討、先進市町や多くの業者からの情報収集を行い、効果的な導入方法を検証していきたいと思います。ま

た、セキュリティに関しても、職員研修を行い、安全で安定したシステム運用を行っていきたいと考えています。

※ ほかにも「町長の考え方」「教育に関して」も質問しました。



次世代システムへ



島田正彦

# 町内の危険箇所は 直ちに対応しています

**問** 町民・自治会からの連絡による危険箇所は把握されていますか。

**答** 建設部長 連絡を頂いた時には、必ず現地を確認し、即対応しています。

再質問（一問一答）

**問** 東員病院付近の歩道が狭く、交通量も多く危険です。今後の対応は。

**答** 建設部長 有効的な整備には、桑名市との財源も含めた協議が必要です。今後十分検討していきます。

**問** 今後、町民から通報があった場合は、現場検証をした回答を頂けますか。

**答** 建設部長 必ず現場確認をし、その対応策を回答します。

**問** 連絡後の現場検証は当然ですが、自治会23ブロックを6カ月ごとに1回パトロールできませんか。

**答** 建設部長 職員の把握は困難ですが、提案のブロック別パトロールを参考に体制づくりを検討していきます。

応援協定は

**問** アマチュア無線ボランティアと新しく災害時応援協定は締結しましたか。

**答** 総務部長 現在見直しは行っていませんが、広域災害に対応する通信手段も変化してる事から必要が生じれば見直します。

再質問（一問一答）

**問** 今後定期的な協議の計画はありますか。

**答** 総務部長 今後はお願いをすることを具体的に示し、さらに綿密な連携を図っていきます。

**問** 5回開催のワークショップは、防災にどの様に活かされていますか。

**答** 総務部長 「避難と避難所運営のあり

方」をキーワードに防災計画に反映します。

**問** デジタル簡易無線による緊急連絡網は。  
**答** 総務部長 各避難所への配備を検討しています。

※ ほか「空き家、空き地の対応について」「発達支援室について」の質問を



無線クラブ防災訓練に参加



近藤敏彦

# 人口増加の取組みは ソフト面を充実させます

**問** イオンモール東員がオープンしました。平成27年度には東員インターも利用開始となります。生活に便利な街になり、町外からの転入を希望される方もあると思います。道路整備やコンパクトシティなど都市計画の取組みはどのようになっていきますか。

**答** 町長 若い人たちに移り住んでもらうには、子育てや安全性などの環境を整えて文化度を高くし、心豊かに過ごせるようなソフト面での充実をはかっていきたいと思っています。コンパクトシティは東員駅を中心に歩いて暮らせる生活空間をイメージしています。

再質問（一問一答）

**問** 東員駅周辺は農振地域だと思えます。法の壁を乗り越えるような行動は起こされていますか。

**答** 町長 今年度、県の農林部長に来てもらって、現地を見てもらいました。そして、まちづくりの中で検討し、町の方針を出して、県との協議を行っていききたいと思っています。

**問** ハード面も充実させないといけないと思います。以前から言われていますが、共同福祉施設と文化センターの間の県道桑名東員線のT字路を突っ切ってはという問題はどのようになっていきますか。

**答** 町長 この道は東員インターアクセス線に指定されているので、状況の変化に応じて県に優先順位を上げるよう働き掛けたいと思います。

**問** 三孤子川の長深から南大社の間の堤防や、三和小学校からナルックスまでの町道の拡幅も住民から要望がありますが、

対応はどのですか。

**答** 建設部長 地元自治会と十分協議し、今後計画のテーブルに乗せて十分に検討をしたいと思っています。

**問** 住む場所がないと、人口の増加は望めません。道路などのインフラや住宅など受け皿を整備することも大切ではないですか。

**答** 町長 東員町のまちづくりに参加してもらえらるような政策を充実させます。市街化区域の中で家を建てられる場所があるので、開発してもらえればありがたいです。



手付かすの市街化区域





南部武司

# 入札後の変更は望ましくありません

## 問

9月議会の決算認定審査において、庁舎

内の照明・トイレバリアフリー・駐車場の各工事で予算として認めた内容に対し、入札後、大幅な変更と多額の追加工事がありましたが、予算決算委員会での副町長の答弁を町長はどのように受け止めましたか。

## 答

町長 副町長の答弁とおり、可能な限り

予算の範囲内で誠実な執行に努める事が求められており、指摘された工事請負費の予算トータル範囲内で追加工事を施工することは、決して望ましいものではありません。今後は予算要求時から十分に精査します。

## 再質問（一問一答）

## 問

追加工事は、役場駐車場の車止めと安全ポールの設置、文化センターでは照明装置の取り付けでしたか。また、電気自動車用の充電スタンドは考慮しなかったのですか。

## 答

総務部長 追加工事は、指摘のとおりです。安全面を考慮し設計しましたが、配慮が足りな

かったため、追加工事を行いました。また、電気自動車の充電スタンドは、費用対効果を考え設置しませんでした。

## 問

桑名市などで見受けられる常勤ではないOBの再雇用、あるいは退職された専門家の再雇用など考えられませんか。

## 答

副町長 再雇用については、今年定年となる方が年金を受け取るのは2年先となることから、

何かしなければならぬので制度を作っています。

## 問

斎苑火葬業務では炉の修繕費が計上されていますが、内容は分かりませんが、利用者から不満が多いのは、旧来型の和式トイレですが、そのバリアフリーと洋式化の改修予定はありますか。

## 答

生活福祉部長 以前からその様な要望はあります。斎苑は着物姿の方や、お年寄りの方が多く利用される施設ですので、改修を行うよう、至急検討したいと考えています。

※ ほかに「ふるさと納税」の質問をしました。



車止めが追加工事とは



伊藤 守一

# 新ごみ焼却施設の交付金減額は 緊急要望書を提出しました

## 問

桑名広域清掃組合では新しい焼却施設を建設することで進められています。新聞報道にごみ焼却場・交付金「建て替え費を国が確保できず」とあり、桑名広域組合とも関連がありますが、今後の動向を伺います。

## 答

生活福祉部長 今年度の要望自治体などへの国の交付金は、一律6割になっています。県は国に対し、今年度の要望額の満額交付を求める要望を2度行っており、国は「年明けの補正予算で対応できるよう努める」との事です。桑名広域清掃組合としては、県による国への働き掛けを全国都市清掃会議から、国などに対し要望額の確実な確保を求める緊急要望書を7月に提出しています。平成33年度稼働予定の新焼却施設の建設費用も、交付金を見込んでいるので、今後も国などの動向を

## 空き地の雑草は

注視していきます。

## 問

空き地の雑草処理を役場に要請しましたが、解決には至りませんでした。また、本年度も苦情があり、再度要請しますが、今後の雑草対策を伺います。

## 答

生活福祉部長 笹尾・城山地区の空き地については、所有者の高齢化や町外在住の理由で、管理が十分に出来ないため、苦情をいただく事例が増えています。苦情があった場合には、町環境美化条例の規定により、土地所有者に適正な管理を促すため、文書で通知を行っています。それでも対応のない所有者には、再通知や電話をし、催促しています。今後も引き続き、早急に処理を頂くよう連絡の回数を増やし、継続して対応してい

## 敬老会の補助は

きます。

## 問

敬老会の補助金増額の要望が多くありますが、来年度はどうなりますか。

## 答

生活福祉部長 昨年は、全自治会で開催され参加者1206人、参加率は48・8%でした。



管理が行き届かない宅地

平成26年度の予算については、自治会からさまざまなお問題を頂いていますが、事業目的に沿った、現状の仕組みを維持したいと考えています。本年度と同様に予算の確保に努めます。

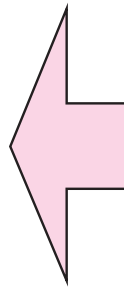
# 追跡

## あの質問は どうなったんや？

議員が、過去の本会議で行った一般質問の中から、その後どのように町政に反映されたかを追跡し、皆さんにお知らせします。

### こうなりました

平成25年2月避難所に指定されている東員町内の各小中学校体育館入口付近と、東員町総合体育館玄関付近の9カ所に設置しました。



### 鍵ボックスの設置を

Q

避難所に、地震の揺れを感じると自動的に鍵を解除する装置「鍵ボックス」の設置を提案します。

(平成23年12月議会)

A

「鍵ボックス」の設置については検討中で、新年度の設置に向け進めていきます。

## 読者の声

たくさんの感想を寄せていただき、ありがとうございました。

私達町民の思う身近な問題を的確に議員の方々が質問してくださり、その回答を議会だよりにおいて私達に知らせてくださるのは大変ありがたいです。

城山 女性

最近、学校の公民の授業に興味を持ちました。とても読みやすく、分かりやすかったです。次回も楽しみにしています。

穴太 男性

イオンモール東員による交通状態の早急な対策をお願いします。

城山 女性

東員町の財政などが良く分かり読んでいて勉強になります。

笹尾東 男性

毎回どんな事が質問されているのか？興味を持って読んでいます。大規模なイオンモール東員店がオープンし、住みよい暮らしになる様なこれからの東員町の発展に議会議員の皆様のご活躍を期待しています。

笹尾東 男性

※ 内容は原文のまま掲載しました。  
ありがとうございました。

# クイズ当選者

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございます。

正解は、

- 問1 73億9923万円
- 問2 1109万9千円
- 問3 10人

多数の正解者の中から抽選の結果、次の15の方が当選されました。

- \*城山 3 水谷 勇 様
- \*笹尾西 3 宮前 房子 様
- \*大 木 寺田 文代 様
- \*笹尾西 1 川上 登弘 様

- \*中 上 服部 秀子 様
- \*城山 3 藤井 豊 様
- \*笹尾西 1 勝川 得江 様
- \*城山 2 隅田 由恵 様
- \*城山 1 大岡 彩乃 様
- \*穴 太 佐藤 公治 様
- \*笹尾東 1 富岡慎太郎 様
- \*城山 2 山口 逸雄 様
- \*笹尾西 2 川瀬 幸男 様
- \*城山 2 澤井力ナ工 様
- \*笹尾東 2 岡本 教之 様

当選された方に図書カードを贈呈します。



第二中マラソン大会

次回の定例会は  
平成26年3月開会予定です。  
傍聴、お待ちしております。

## 親父の小言

新年明けましておめでとございます。新しい年を迎え、皆様のご健康とご多幸をご祈念いたします。ひと昔前、地震・カミナリ・火事・親父と言われ、父親が一目おかれる時代もありました。近年、父親の威厳と責任感が薄れ、「もっとしっかりしろ」と、先人の声が聞こえる気がします。先日、友人のお母さんから、次のような言葉をいただきました。

大酒は飲むな 初心は忘れるな  
働いて儲けて使え 泣き言は言つな  
年寄はいたわれ 貧乏は苦にするな  
恩は遠くから返せ 自らを過信するな  
家内は笑って暮らせ 朝はきげんよくしろ  
人の苦勞は助けてやれ 不吉は言うべからず  
水は絶やさぬようにしろ 何事も身分相応にしろ

若い人たちに笑われるかもしれませんが、しかし、あえて言います。世のお父さんお互い頑張りましょう。

(南部 豊議員)

### 議会広報常任委員会

- 委員長/南部 武司
- 副委員長/種村 博行
- 委員/近藤 治隆・近藤 敏彦
- 南部 豊・川瀬 孝代

議員の寄附は罰則をもって禁止されており、議員に寄附を求めることも禁止されています。また、年賀状など(答礼のための自筆によるものを除く)を出すことも禁止されています。

一般質問の議事録はホームページで公開しています。議会事務局でも閲覧できます。